

中長期運営計画

2023年4月1日

特定非営利活動法人 eワーク愛媛

理事長 難波江 任

当団体は、2003年12月に活動を開始し、本年12月で20年の節目を迎えます。

これまで、事業の継続とさらに地域貢献できることを目指して、活動の理念である「**全ての子ども、若者が希望と生きがいを持って生活できる地域づくり**」のもと役職員が一体となり団体運営を行ってきました。今後、さらに役職員全員がやりがいを持って明るく、楽しく地域貢献度の高い活動できるよう、5年度、10年後の社会環境を見据えて、以下の取り組みを進めます。

1. 中期運営計画概要（2028年3月）

1) 組織的・経済的体力づくり（現在の事業の継続基盤強化）

- (1) 組織内の効率化と透明性の向上を図るための内部プロセスの見直し、改善
- (2) 寄付や助成金の獲得を目指すファンドレイジング戦略の策定実施
- (3) ボランティアとの連携を強化し、人材リソースを最大限活用するための仕組み構築

2) ニート・ひきこもり等、困難を抱える若者の支援拡充

- (1) ケアリーバーの若者支援プログラムの拡充と改善
- (2) メタバース、eスポーツ活用によるひきこもりの若者支援プログラムの開発と実施

3) 人材育成

- (1) アウトリーチ人材や相談支援員のスキル向上のための研修プログラムの実施
- (2) 後継者育成のための若年人材の雇用と積極活用の推進
- (3) 地域人材の育成を目的とした地域コミュニティとの連携強化と地域教育プログラムの推進

4) フードバンク事業の拡充と別法人化の検討

- (1) フードバンク事業の別法人化に向けた検討と計画の策定
- (2) 県内フードバンクネットワークの形成と連携強化
- (3) フードバンク事業の経済的基盤強化を図るためのビジネスモデルの検討と実施

2. 長期運営計画概要（2033年3月）

1) 組織的・経済的体力づくり

- (1) 自己資金源の獲得による事業展開の実現
- (2) 組織の自立性と持続可能性を確立のための外部人材の活用

2) 若者支援の拡充

- (1) 県内外の若者支援団体との積極交流によるネットワーク構築
- (2) 上記ネットワークによるメタバース、eスポーツ活用による支援モデル普及

3) 人材育成

- (1) 地域に根ざした人材育成のモデルケースを創出
- (2) 後継者育成を考慮したスタッフのキャリアパスや教育プログラムの構築

4) フードバンク事業の拡充

- (1) フードバンク事業の別法人化（自立運営のサポート実施）
- (2) 社会問題解決性の高いフードバンク運営の研究と発表

以上を骨子として、法人運営を進めます。詳細の進め方は別紙のとおりです。